

酸素を作り出す緑のちからを見直そう

6月は環境月間です。美しい阿蘇の環境を守りましょう



私たちが自然と共存するためには、現状をよく知り、自然の役割を正しく理解することが大切です。現在、阿蘇市では、誰でも参加できる自然体験エコツアーが多数行われています(ツアーの詳細は商工観光課まで)。

写真は、5月19日開催のあそ伝承文化村ふるさとおもしろ館の行事「北外輪山の草原で遊ぼう」。高橋佳也さん、高村貴生さんの案内で、たくさんの植物に出会い、環境保全の必要性を学習しました。

阿蘇市には「緑」がどれくらいある？

森林全体	13,692ha (そのうち水源涵養林・土砂崩壊防備等の保安林は5,567ha)
草原(原野)	7,522ha
田畑など農地	8,578ha
市全体の面積	37,625ha

地球は今、温暖化、オゾン層の破壊、汚染、砂漠化、発展途上国の公害など数々の問題を抱えています。これらの問題からこの環境を守るためには、一人ひとりが環境についてよく学び、協同でエコ活動に取り組むことが必要です。

—— 私たちができること ——

【二酸化酸素の排出を少なくする取り組み】

地球を暖める温室効果ガス(二酸化炭素・フロン・メタンなど)の排出をおさえましょう。

車の運行を減らす：バスや鉄道などの公共機関や自転車を利用しましょう。長時間停車する時は自動車のエンジンを切りましょう。

電気などのエネルギー利用を削減：コンセント(主電源)を抜く、冷暖房、冷蔵庫、照明など、省エネを心がけましょう。

【二酸化酸素を吸収し酸素を作る植物を大切にする取り組み】

緑を増やそう・・・阿蘇の空気がおいしいのは、酸素を作り出す緑が多いから。発展途上国においては森林伐採が大量に行われ温暖化を加速させています。

花や樹木の植栽を心がけましょう。花は癒しの効果があり、水源涵養林は水質浄化に優れ「緑のダム」と呼ばれるほど重要な役割をもっています。